

2022.11.20

ニリンソウ自生地 保護活動情報

赤塚公園ニリンソウを守る会

akatsukanironso@gmail.com

都立赤塚公園
サービスセンター
03-3938-5715

編集責任：運営サポーター／木村



Since 1982 ニリンソウ保護活動 40 周年

赤塚公園ニリンソウを守る会 活動予定

<11~12月の日程> 11/27(日)、12/18(日)

いずれも 10:00~ 大門観察台集合 11:30 終了予定

※雨天の場合は小雨でも中止、予備日に繰り下げ

※雨天予備日 12/11(日)、12/25(日)

<2023年1~2月の日程> 予定変更あり

1/15(日)=八丁目の林、2/12(日)=大門

★ニリンソウを守る会は大門地区のニリンソウ自生地などの手入れ活動を行っています。参加者個々人の自主活動の集まりで、誰でも参加できます。

※問合せ：左記赤塚公園サービスセンターへ

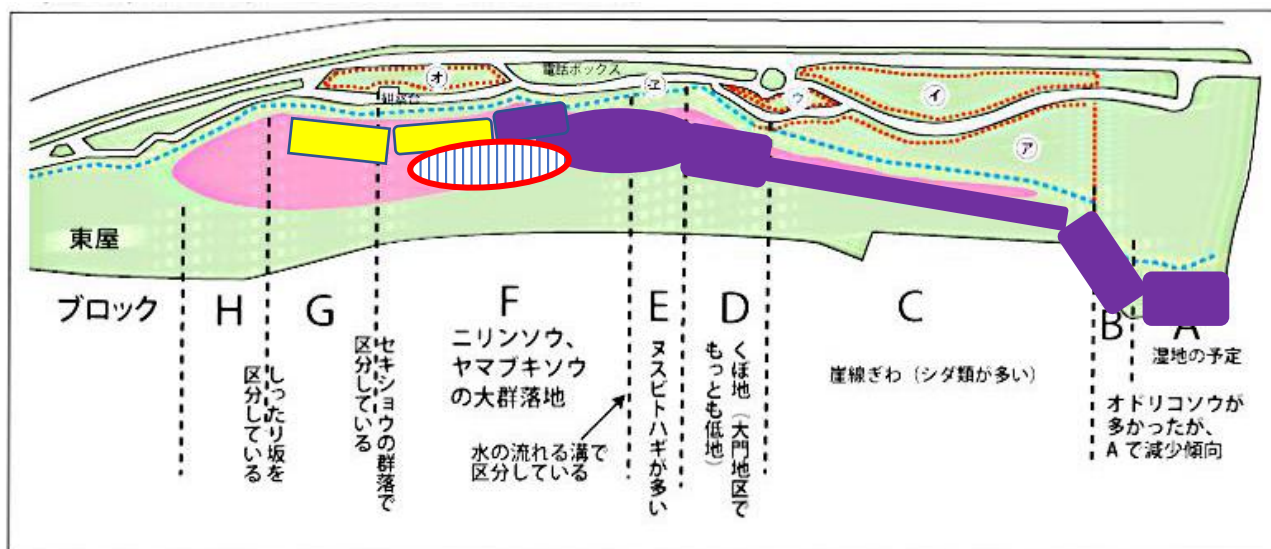
地域入門講座体験者&高島高校ボランティアを迎えて、 にぎやかに林の手入れ



11/20 で 4 回目を迎えた今年の秋の大門ニリンソウ自生地手入れ活動は、板橋区の地域入門講座受講生の体験参加と高島高校ボランティアを迎えて、総勢 22 名の参加でにぎやかに行いました。

今にも雨が降りそうで 12 月の気温だったのですが、身体を動かすとちょうど良いぐらい。

下のマップの赤円縦線部分が 11/20 の作業エリアで、予定通りの進行です。(紫色塗りつぶし部分は作業終了、黄色部分はサービスセンター担当部分)



手入れ(草刈り)で気をつかったこと、マーキングした植物

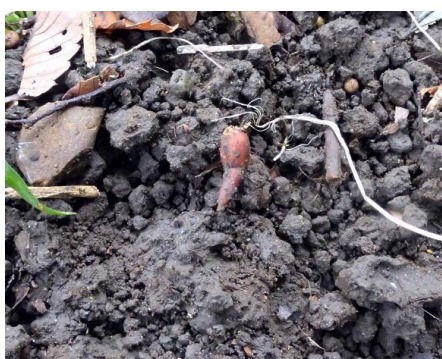
写真左は11/13のニリンソウメインステージ、奥の方の斜面(黄色円内)がニリンソウとヤマブキソウが咲き並ぶ場所です。まだ夏草の枯れ残りや繁殖しすぎたナガバジャノヒゲなどが残っていたのですが、11/20は右のようにきれいに草刈りしました。



杭を立てて赤いビニール紐で囲んだ(マーキングした)所は、これから花を咲かすイヌショウマや越年草のハナウド、シダ植物で珍しいオオハナワラビなど、残しておきたい植物が生えている場所です。「ニリンソウの保護活動」はニリンソウという種だけを残すことが目的ではなく、ここに生きているたくさんの植物が生きやすい条件をつくることです。このような配慮をしながらの手入れ作業になるのです。(マーキングは全作業が終了後に外します。)

雨々と春への動き、命の芽生え ニリンソウは早くも蕾もつ

写真左から ①10/30 地面に露出したニリンソウの根茎。ぽっちりと葉茎をのぞかせていました→②11/13には葉が展開。そして、→③11/20には蕾も(この株はマーキングしておきました)。この3枚は違う場所の違う株ですから、展葉が早い特殊な株というわけではなく、全体的傾向の気配あり。だとすると、来年のニリンソウの開花は早いか、バラバラ咲きか???



←セスジツユムシと思われる昆虫。お腹が大きくなっています。次の世代に命を繋ぐために頑張っています。(1面の写真とともにMさんの提供)

参加者募集中!

※問合せ:赤塚公園サービスセンター03-3938-5715